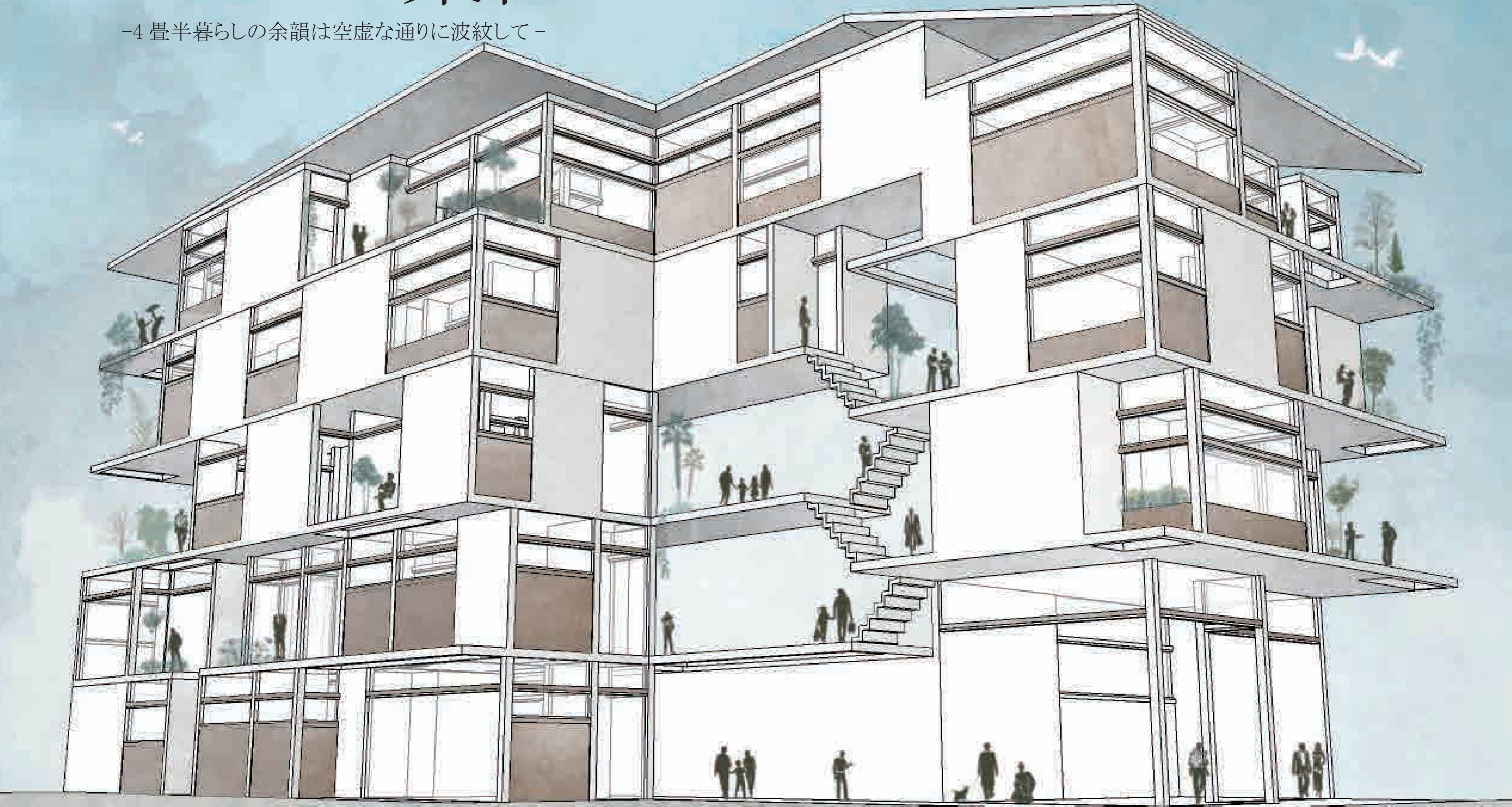


スプロール集住宅

-4 畳半暮らしの余韻は空虚な通りに波紋して-



4 畳半という親しみのある“間”を用途の入れない“暮らしの余韻”とする。
それは日常生活のあらゆる活動を介するコアとなり、各家庭に異なる活動領域が内的・外的に展開されることで、新たな家族の風景を見ることができるとはならないかと考える。そうした異なるキャラクターが半外部空間で共存し、細胞型の構成は平面上に収まらず立体的な関係性をも生み出し、血管のように動線を建築全体にめぐらすことを可能にした。そんな暮らしの領域から、浅間通り商店街に存在する空虚な通りや、地域に根付いた“生業・学び・食”文化の間（3人のテーマによる）へと波紋していくことにより、現在の生活スタイルと地域文化の新たな関係性を生み出した。

建築設計集合住宅課題「集まって暮らす、働く」

浅間通り商店街

配置計画
通りの交差点、各棟3人の計画地A/B/Cが交互に折り返り重なり合うように配置することで、空間的なバランス、さらには生活のリズムを生み出さないかと考える。

“通りの空虚”とは
4 畳半に設備機能を収めさせた構成は、2 畳半住宅を組むことを可能にし家族の形態の変化に対応できる。

動きの変化
コワーキングによる影響で、より階の空間が活用される傾向が、その土地の集約型住宅のあり方が変化するのではないかと考える。そこで住民に選択権を付与する空間構成、それは従来の2.5 畳半の固定型より階層開放をなし、コワーキングによる影響で利用される階層の開放と、階層が互いに階層間の軸を共有する状態、その階層の階層間へ対応を可能にした。

構成
4 畳半の“間”
設備機能が収まり、タラスが繋がる

生業の歴史
浅間通り商店街が歴史ある商店街として発展してきた際、全国各地から集められた道具や加工、職人などの職人たちの多くが地産物も販路に伸ばした。

日曜大工
“日曜大工”というワードを聞いたことはあっても実際に家賃を払って住むことは減少している。
そこで、工務店を統合させることで地域の文化的価値に結びつけられるように同時に、家賃の差を吸収するのではないかと考える。

環境
“日曜大工”というワードを聞いたことはあっても実際に家賃を払って住むことは減少している。同時に、家賃の差を吸収するのではないかと考える。

吹き抜け
吹き抜けから上下階の住人の様子を感じられることにより、人のつながりがより強固な関係性が生まれた。

ダブルルーフ
タラスを階層として捉えることは活動を外部にも繋げる機能のひとつになり浅間通りに波紋する。

動線
1 階で通り抜けを設けることで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

浅間神社の参道として
1 階で通り抜けを設けることで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

立体的な回遊性を生む
階層間の移動を生むことで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

活動の目的
農業産物販売を主とした質の高い商店街を維持するため子供たちに自然と向き合ってもらい（自ら居場所を開拓する）ウォーキングコースを確保する（街の対角に居場所をつくる）

浅間通り商店街
配置計画
通りの交差点、各棟3人の計画地A/B/Cが交互に折り返り重なり合うように配置することで、空間的なバランス、さらには生活のリズムを生み出さないかと考える。

“通りの空虚”とは
4 畳半に設備機能を収めさせた構成は、2 畳半住宅を組むことを可能にし家族の形態の変化に対応できる。

動きの変化
コワーキングによる影響で、より階の空間が活用される傾向が、その土地の集約型住宅のあり方が変化するのではないかと考える。そこで住民に選択権を付与する空間構成、それは従来の2.5 畳半の固定型より階層開放をなし、コワーキングによる影響で利用される階層の開放と、階層が互いに階層間の軸を共有する状態、その階層の階層間へ対応を可能にした。

構成
4 畳半の“間”
設備機能が収まり、タラスが繋がる

生業の歴史
浅間通り商店街が歴史ある商店街として発展してきた際、全国各地から集められた道具や加工、職人などの職人たちの多くが地産物も販路に伸ばした。

日曜大工
“日曜大工”というワードを聞いたことはあっても実際に家賃を払って住むことは減少している。
そこで、工務店を統合させることで地域の文化的価値に結びつけられるように同時に、家賃の差を吸収するのではないかと考える。

環境
“日曜大工”というワードを聞いたことはあっても実際に家賃を払って住むことは減少している。同時に、家賃の差を吸収するのではないかと考える。

吹き抜け
吹き抜けから上下階の住人の様子を感じられることにより、人のつながりがより強固な関係性が生まれた。

ダブルルーフ
タラスを階層として捉えることは活動を外部にも繋げる機能のひとつになり浅間通りに波紋する。

動線
1 階で通り抜けを設けることで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

浅間神社の参道として
1 階で通り抜けを設けることで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

立体的な回遊性を生む
階層間の移動を生むことで、商業ビルから集約的に入る事が出来る空間に、地域の商業の歴史や文化の息遣いを感じられる。

活動の目的
農業産物販売を主とした質の高い商店街を維持するため子供たちに自然と向き合ってもらい（自ら居場所を開拓する）ウォーキングコースを確保する（街の対角に居場所をつくる）

1階平面図 S=1200
2階、2.5階平面図 S=1400
3階、3.5階平面図 S=1400
4階、4.5階平面図 S=1400
5階平面図 S=1400

4 畳半 ■ 水廻り ■ 寝室 ■ 共用部 ■ テラス

A-A' 断面図